

エディトリアル

台東区立台東病院 院長 杉田義博

人はいつか老い、死を迎える。医学と医療の進歩は人間の寿命を延ばし、国民皆保険制度という世界でもまれな恵まれた医療環境を持つ日本の平均寿命は世界でトップクラス、2012年においては女性86.4歳、男性79.9歳という長寿を誇る¹⁾。これは本来望ましいことであり、誇るべきことであるが、そうとも言いきれないのが日本の医療の現状であろう。

近年、自分がどのような終末期を経て死を迎えるのか、望ましい終末期とは何か、というテーマについて関心が高まっている。いわゆる「終活」として、人生の最終期の過ごし方や、亡くなった後のことを生前のうちに決めておくことが勧められ、大きな共感を呼んでいる²⁾。

医療に関しては、終末期において患者本人が望まない延命治療を行われること、特に長期にわたる胃瘻栄養によって数年間も寝たきりで延命されることに対する否定的な意見が強い。いつまでも元気で、若々しく、好きなものを食べ、好きなことをして生きたい、と考えるのは自然なことではあるが、そうともいえないのが人生である。加齢により身体能力が衰え、認知能力が衰えるのは必然であり、脳血管障害や認知症をはじめとする疾患が能力をさらに低下させる。

結果として摂食・嚥下能力が低下し、低栄養状態や誤嚥による肺炎を引き起こし、在宅療養が不可能となり、入院することで廃用が進行し、摂食・嚥下能力の低下を促進する、負のスパイラルに陥る場合が多く見られる。

そうなる前に、摂食・嚥下能力の低下を予防し、また能力の低下を早期に発見し、低下した能力を回復させたい、そしてできる限り自分で美味しく食べていきたい、せめて患者にもう一度食べる楽しみを味わってもらいたい、と誰もが望んでいる。全国で経口摂取の大切さを訴え、摂食・嚥下能力が低下した場合の医療・介護の連携を訴える研究会が開催されており、医療・介護者のみならず、一般市民の関心を集めている。

今回の特集では、プライマリ・ケアの現場において重要性が高まっている摂食・嚥下の問題を、さまざまな側面から検討した。この問題は医師だけでなく、歯科・リハビリテーション・栄養といった多職種が関わるのが重要であり、多くの職種に寄稿していただいた。

最初に市立恵那病院リハビリテーション科部長の寺島宏明先生に、複雑な機能である嚥下について概説をしていただいた。嚥下障害の予防とリハビリテーションの実際については、東京北社会保険病院リハビリテーション室でSTとして活躍している古賀昭貴先生から、STからみた嚥下障害の予防と嚥下機能回復というテーマで、実際に行われている訓練を踏まえて報告をいただいた。次いで台東区立台東病院リハビリテーション科の高橋洋先生より専用の機器を用いずに臨床現場でできる嚥下評価という大変実用的な報告をいただき、多職種連携の立場から、磐梯町保健医療福祉センター歯科の田辺理彦先生よ

り、歯科の立場からの咀嚼と口腔ケアについて報告をいただいた。

これらの方法により摂食・嚥下能力の低下を予防・回復させることが重要ではあるが、不幸にして誤嚥性肺炎を発症してしまった場合にどう診断・治療を行うかについて、三重県で呼吸嚥下リハビリテーションの専門クリニックを開業し、呼吸嚥下について専門的な研究を行っている井上登太先生に誤嚥性肺炎の診断と治療・予防というテーマで報告をいただいた。

最後に摂食・嚥下能力が進行した場合に選択せざるを得なくなる人工栄養、特に胃瘻について、導入における倫理的・法的な問題を含めて、筆者が概説した。また人工栄養を検討する前に、摂食・嚥下能力が低下した患者でも食べやすく、家族が簡単に作ることができる嚥下治療食を、地域医療振興協会の栄養士部会で検討したので紹介する。

冒頭で述べたように、超高齢化社会を迎える日本において、摂食・嚥下の問題は、多くの人々が高い関心を持つテーマである。早期に発見し適切に介入することにより、能力の低下を防ぐことが重要だと再認識した。また認知症等の進行により摂食・嚥下能力と同時に自己決定能力を失った場合にどのような選択をするか、という難問があることが分かった。これは単なる医学的問題ではなく、法律ならびに社会的な問題を含んだ難しい問題であるが、現在各方面から解決の糸口が示されようとしている。プライマリ・ケアに携わる者として、患者が望ましい終末期を迎えることができるよう、早い時期から終末期について語る機会が必要になってきたのだと思う。今回紹介するさまざまなノウハウ、技術を現場で生かすことによって、高齢者が高いQOLを保って生活する手助けになれば幸いである。

文献

- 1) 厚生労働省資料：平成24年簡易生命表の概況。http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life12/dl/life12-13.pdf
- 2) 終活カウンセラー協会とは？ http://shukatsufesta.jimdo.com/